

## 2019 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

公益財団法人 橋本財団  
理事長 橋本 俊明 様

2020 年 3 月 31 日

ふりがな	かんわいりょうけんきゅうかい			
団体名	緩和医療研究会			
代表者名	役職名	世話人代表	氏名	齋藤 信也
連絡先	住所	岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学病院緩和支援医療科内		
	TEL	086-235-6502		
	E-mail	kanwa@md.okayama-u.ac.jp		
	URL	<a href="https://www.kanwairyo-okayama.jp">https://www.kanwairyo-okayama.jp</a>		
設立年（西暦）	1991 年			
主な活動	緩和医療研究会は平成 3（1991）年 9 月、当初は「末期（がん）の症状コントロールを考える医師の会」として創設され、現在は対象をがん以外にも拡大するとともに医療関係者広くに参加をよびかけて活動を続けている。とくに、大学と地元の医療職が協力しながら緩和医療・緩和ケアを推進していこうという組織である。会の活動として、年 1 回の総会・総会記念講演の他に、年数回の症例検討や講演会などの研究集会を開催しており、これは通算 64 回を数えている。また、そうした活動の記録とともに、緩和医療の最新動向について特集を編んだ機関誌『緩和医療』を発行しており、これも通巻 34 号を数えている。			
活動の対象者	岡山県民、医師、看護師、薬剤師、介護師、ケアマネージャー等の医療福祉に関連する多職種			
助成活動名	緩和医療普及のためのホームページリニューアル及びセミナーの開催			
助成額	1,900,000 円			
実施内容	目的	岡山県における癌の緩和医療は次第に充実してきているものの、いまだ十分とは言えない。さらに、岡山県民の終末期における生活の質を向上させるためには、癌だけではなく高齢者の終末期における緩和医療を普及させることが必須である。このような視点から高齢者における緩和医療、人生の最終段階における医療のあり方を岡山県民と、医療者、福祉関係者に啓発していく活動が必要である。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第 65 回研究集会 日時: 2019 年 5 月 25 日（土）14 時 00 分～15 時 30 分 場所: 岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall 対象: 一般及び医療従事者</li> <li>●第 66 回研究集会 日時: 2019 年 8 月 18 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分 場所: 岡山大学病院内 Junko Fukutake Hall 対象: 一般及び医療従事者</li> <li>●ホームページリニューアル</li> </ul>		
	成果	研究集会においては、県外から演者を招くことができた。また例年、20～30 人の医療従事者の参加であったが、一般の方の参加も募り、多数の方に参加をいただくことができた。 ホームページのリニューアルにより、研究会誌の電子版に対応が可能となった。		

<p>今後の課題と対応策</p>	<p>緩和医療の普及啓発については近年、がん医療の分野では、がん対策基本法、がん対策推進基本計画に基づき、国策として進められてきたことから、本研究会の当初の役目は一定程度果たせたものと認識している。一方、緩和医療を、がん以外の疾患、さらには誰にも訪れる終末期全体に拡張してゆくという、目標については、未だ道半ばといえる。具体的には、2010年からは、会の役割をがん分野から、エンドオブライフケアに大きく転換し、高齢者における緩和医療、人生の最終段階におけるケアに主眼を置いた活動を行っているが、その成果は満足できるものではない。特に社会的認知度を上げるためにも、ホームページリニューアル及びセミナーの開催はとても大切なことと考えている。</p> <p>今後の課題としては、がんに限らない緩和医療というコンセプトの更なる普及に向けて、時宜にかなったセミナーを開催し、それをタイムリーかつ効果的に発信できるホームページの運用が課題と考えている。対応策として、今回の助成でリニューアルされたホームページを活用してゆくことを考えている。</p>
<p>参加者・利用者の感想など</p>	<p>●第 65 回研究集会 参加者数 (118 人) (内訳)          医師 会員 18 人          歯科医師 2 人          看護師 42 人          薬剤師 3 人          介護支援専門員 4 人          介護師 3 人          歯科衛生士 2 人          作業療法士 2 人          保健師 3 人          看取り士 1 人          大学教員 1 人          大学院生 5 人          一般 32 人</p> <p>●第 66 回研究集会 参加者数 (94 人) (内訳)          医師 21 人          看護師 22 人          薬剤師 2 人          ソーシャルワーカー 2 人          介護支援専門員 1 人          保健師 3 人          歯科医師 2 人          一般 41 人</p>
<p>写真の提出</p>	

## 緩和医療研究会 第65回研究集会

事前申込  
不要

よりよい意思決定支援を考える  
～現代日本の死生観に基づいて～

【日 時】 2019年5月25日(土) 14時～15時30分  
【会 場】 岡山大学病院内  
Junko Fukutake Hall (Jホール)  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

座長 岡山大学緩和支援医療科 助教 片山 英樹

岡山大学病院 緩和ケア認定看護師  
高下 典子

座長 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科  
特任教授 松岡順治

東北大学総長特命教授、同名誉教授  
鈴木 岩弓

【参加費】 無料

日本医師会生涯教育制度単位取得対象

共催： 緩和医療研究会、岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科、岡山大学病院緩和支援医療科、野の花プロジェクト、岡山大学医師会  
後援： 岡山県、岡山県医師会、(一社)岡山県病院協会、(公財)橋本財団、山陽新聞社、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち(順不同)

【お問い合わせ】 緩和医療研究会  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学病院緩和支援医療科内  
Tel: 086-235-6502 / Fax: 086-235-6502 / E-mail: kanwa@md.okayama-u.ac.jp  
◆公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。

## 緩和医療研究会 第66回研究集会

【日 時】 2019年8月18日(日) 14時00分～16時00分  
【会 場】 岡山大学病院内  
Junko Fukutake Hall (Jホール)  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

【参加費】 無料

【テーマ】 高齢者医療における意思決定支援

座長：岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科  
特任教授 松岡順治

➢ 教育講演 14:05～14:45  
「様々な疾患での意思決定支援とその特徴」  
岡山大学病院 緩和支援医療科 助教 片山 英樹

➢ 特別講演 14:45～15:45  
「超高齢社会に最適化された医療の形を考える」  
医療法人社団悠翔会  
代表 佐々木 淳

悠翔会は在宅医療に専門的に取り組んでいるクリニックのグループです。理想の在宅医療を実現したいという思いから、佐々木淳先生を中心として2006年に立ち上げました。現在、9拠点・16人の常勤医師・35人の非常勤医師を擁する首都圏最大規模の在宅医療チームに成長しています。東京23区に隣接する埼玉・神奈川・千葉の各地域にて訪問診療に従事、チーム全体で約2000人の在宅患者の診療を担当しています。

共催： 緩和医療研究会、岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科、岡山大学病院緩和支援医療科、野の花プロジェクト、岡山大学医学生会、中国・西田がんがんがんがんセンター  
T 後： 岡山県、岡山県医師会、(一社)岡山県病院協会、(公財)橋本財団、山陽新聞社、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち(順不同)

【お問い合わせ】 岡山大学病院緩和支援医療科  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
Tel: 086-235-6502 / Fax: 086-235-6502 / E-mail: kanwa@md.okayama-u.ac.jp  
◆公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。

事前申込  
不要

日本医師会生涯教育制度単位取得対象